



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働活動
城陽市立 古川小学校	古川小学校学校運営協議会 平成27年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 0名	古川放課後子ども教室



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

校区の各団体、保護者の中から活動支援に当たる地域コーディネーターを推進役とし、子どもたちの安心・安全な居場所づくりを進めるため、平成20年1月古川放課後子ども教室が立ち上げられた。地域住民等の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が連携・協働して様々な活動を行っている。平成27年4月には、古川放課後子ども教室の指導員が会長となり、古川小学校運営協議会を立ち上げ、地域の方々子ども達とのふれあいを通して、地域が一体となって子ども達をはぐくみ、学校を見守っていかうとする連帯感が生まれてきている。

目標や目指す姿(学校)

意欲的に学び、質の高い学力とたくましく健やかなからだを身に付けた人間性豊かな児童の育成

目標や目指す姿(地域)

子どもたちにとって安心・安全で大人と関わる心地よい居場所づくり



古川小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- 古川校区青少年育成協会顧問
- 古川小学校PTA会長
- 古川校区体育振興会幹事
- 古川小学校PTA副会長
- 古川校区民生児童委員協議会長
- 古川校区防犯推進協議会支部長 など、計 9名で構成
- 古川校区社会福祉協議会長 年間平均 3回程度開催

効果的な運営の工夫

- ◆地域の子ども育成に関わる団体の方や地域をよく知っておられる方(実際の子どもの顔が見える関係にある方)が委員を務めており、子ども達の実態を踏まえて協議ができています。
- ◆古川放課後子ども教室の指導員が古川小学校学校運営協議会長(現在は指導員を引退されている)や委員を務めているので、子どもの実態をよく把握した上で地域学校協働活動の取組等も含めた情報交流等がしやすい。
- ◆学校運営協議会の委員にPTA役員が加わっているため、保護者の理解も図りながら取組を進めている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

学校における子どもの様子の交流に加えて、古川放課後子ども教室で学習活動、体験活動に取り組む子どもの様子や活動状況について、情報共有や意見交流等がなされている。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

水曜コースでは子どもの実態やニーズを踏まえた、書道、絵画、アクティブの3コースが選択でき、土曜コースではグラウンドゴルフや小物づくりなどが体験できるプログラムに参加できる。学校運営協議会の委員を含めた地域の方から、専門的な知識や経験のある地域の方が活動支援にあたっている。



コース活動の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

各コースにおける地域の指導者や子ども教室の指導員が学校運営協議会の委員を兼務され、互いの情報交流が取りやすい環境にあることから、子どものニーズに合わせた活動が円滑に実施できている。

取組

成果・効果

- ◆取組を通して、地域の方が一体となって子どもを見守り、育てようという連帯感が生まれてきている。
- ◆各コースの活動に地域の方が関わることにより、地域の方が「自分たちの学校だ」という意識を強く持たれるようになった。
- ◆参加児童の割合は年々増加しており、子どもの中にも地域における居場所としてのこの活動が定着している。
- ◆地域の方と子どもが顔が見える関係を築けていることで、普段からの子どもの安心・安全の確保につながっている。
- ◆子どもの興味関心に応じてコースを選択することができるため、子ども自身の自主的な学びにつながっている。
- ◆その他、作品展示により地域の方に子どものがんばりを披露できたり、いもほり交流(地域の特産物)により地域の方と子どもがともに活動する場があったりするなど、この取組を通して子どもと地域の方がつながる環境が生まれている。
- ◆子ども教室で学んでいた子どもが、大学生スタッフとして指導的立場で教室に参加するなど、地域の中での新たな人材となる好循環ができています。(現在、コロナ禍により大学生参加はできていない。)